

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	実習1	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全専攻	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	120時間
単位数	4単位	授業形態	実習		
教科書/教材	演習で資料プリントを配布する。項目によってHDD、ヘッドホンなど。				
担当教員情報					
担当教員	鎌田・伊藤・三好	実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア、MAエンジニア		
学習目的					
<p>レコーディングスタジオを始めとする音響系スタジオには様々な仕組みと、特有の機材が設置してある。それらの機器をうわべの手順を追うだけでは無く、信号の流れと音声信号の変化を理解することで、機材トラブルへの対処や応用操作が可能になる。本校ではアナログをはじめデジタルミキサーまで様々なタイプのミキサー卓が設置されているが、基本はアナログ的な信号の流れを理解することにより、メーカーや機種が異なってもオペレートが可能となる。操作とその意味をしっかりとイメージできるようになることを目的とする。</p> <p>また、後期の専攻選択の参考となるよう各専攻の音の取り扱い方も理解する。</p>					
到達目標					
<p>初期段階ではポータブルミキサーを使いながらミキサー卓の音声信号(電気信号)の流れを理解する。入力された音声信号が増幅、分流、減衰などを行いながら出力されている事を把握する。そして各種スタジオ機器についてもその役割と操作方法について理解する。特にマイクロフォンはダイナミック、コンデンサーともに現場で多用されている物の特徴と名称も取り扱いと共に覚えることを目標とする。</p>					
教育方法等					
授業概要	基本はプリント資料を適時配布するが、各自で実習専用のメモ帳を用意すること。この講義は演習1と連動した科目である。実際のスタジオワークの手順、ミキサー卓の操作などを理論立てて理解し、音の流れと電気の流れをイメージしやすくしておくことにより、音が出ないなどのトラブルにも素早く正しく対応できるようになることを目指す。項目によっては班ごとに順番を入れ替えることもある。				
注意点	音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する。		
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。			
授業計画(1回~15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	スタジオ概要	スタジオの構造と各機器の役割を理解する。また正しい電源の入れ方もできるようになる。			
2回	ケーブル巻き	順巻き、逆相巻き、マルチケーブルの巻くことができる。			
3回	各機器の立ち上げ	スタジオでマイクロフォンやCDなどの音源を試聴するための操作ができる。			
4回	スタジオ機器の基本操作	各周辺機器・パッチなど接続ができる。			
5回	マイクケーブル	半田ごての使い方をマスターし、今後も使う自分用のケーブルを製作できる。			
6回	マイクロフォン1	基本的なマイクロフォンの種類がわかる。			
7回	マイクロフォン2	マイクロフォンの取り扱い、機能がわかる。			
8回	外録実習	レコーダーの使い方、マイクを適切に使うことができる。			
9回	ケーブル取り扱いまとめ	ケーブル巻き、逆相巻きのチェック。きれいに早く作業ができる。			
10回	マイクロフォンまとめ	マイクロフォン種類、構造、取り扱い、確認・チェック。			
11回	ミキシングコンソール1	ポータブルミキサーへマイクなどの接続ができる。			
12回	ミキシングコンソール2	ポータブルミキサー・AUX回路のしくみがわかる。			
13回	ミキシングコンソール3	ポータブルミキサー・AUX回路の使い方、FB操作ができる。			
14回	ミキシングコンソール前半まとめ	ポータブルミキサーを使って簡単なPAシステムを組むことができる。			
15回	ミキシングコンソール4	中規模ミキサーの立ち上げができる。			

授業計画（16回～30回）

回	授業内容	各回の到達目標
16回	ミキシングコンソール5	中規模ミキサーのAUXを使用できる。
17回	ミキシングコンソール6	中規模ミキサーのバス、操作ができる。
18回	ミキシングコンソール7	SSLの操作1 各種音源の立ち上げ、IO関連の操作ができる。
19回	ミキシングコンソール8	SSLの操作2 モニター、出演者へのFBの操作ができる。
20回	ミキシングコンソール9	SSLとProToolsの連動、録音ができる。
21回	ミキシングコンソール10	SSLとProToolsを連動させたミックスができる。
22回	専攻実習レコーディング1	(バンドの)レコーディングができる。
23回	専攻実習レコーディング2	ギターやコーラスなどのオーバーダビングができる。
24回	専攻実習レコーディング3	バンドもののミックスができる。
25回	専攻実習MA1	映像の取り扱いがわかる。
26回	専攻実習MA2	MA作業ができる。
27回	専攻実習MA3	映像に対してのミックスができる。
28回	専攻実習ラジオ1	ラジオ番組の作り方がわかる。
29回	専攻実習ラジオ2	番組のネタづくりができる。
30回	専攻実習ラジオ3	放送に対して音付けができる。